



定価 一部全紙 五銭五分  
 廣告料 五銭 十二字 一行 五銭  
 日曜 祭日 休刊  
 発行所 常磐毎日新聞社  
 印刷所 常磐毎日新聞社

童話 磐城黒姫物語 (二)

斧 青 三 郎

籠には褐色の松葉が一ぱいに満ちました。日が高くなつた頃、童子達は、お腹が減つて来たので、何か美味い果實はないかとあたりを見廻しますと、山葡萄の、紫に實つた一房が、木の香の枝から下つておりました。二人は籠と熊手を静かに置いて、葡萄を取りに山を下りました。

すると、幽やかに流れる谷の水音に交つて、オギヤオギヤと、赤ちやんの泣聲が、聞えて参りました。二人は立止つて顔を見合せて「おや、おや」「おや、おや」とあたりを見廻しますと白粉花の傍に、新しいザル籠の中に赤子が涙を一ぱいつけて捨ててありました。

「あら、赤子だヨ、随分めんごいネ誰か、忘れて行つたんだヨ」「可愛想に、ヨシヨシおやでんでん太鼓もあるヨ」童子二人は、そつと松葉籠の上に乗せて、蔓紐で結んで、爪先歩みに山を下りました。麗かな日ざしを受けて、針仕事に餘念のないお婆さん

に抱かしてお呉れ」

とお婆さんはもう子供の様な嬉しさで胸が一ぱいになりました。

老夫婦は、夢の様な出来事に、全く愉快になつて了りました。「神様のお開入りだ」と近所の人達を集めて、披露の祝をいたしました。集まつた近所の人達は喜びの言葉を交しましたが誰一人として、赤子の可愛い事や事を申しませんでした。

それは赤子の顔が墨で塗つた様に、黒い色をしてゐたからでした。それから誰が言ふともなく、この赤子を黒姫、黒姫と言ふ様になりました。

黒姫は温かい老夫婦の手で、蝶よ花よと育まれてもう、十七の年を迎えました。

草原であつた渺い平野もいつの間にか田畑と變つて了りました。

雉 子 (高月句會集)

きじ鳴くや一山やがて黄昏れし  
 きじ啼くや小雨に暮るゝ向山  
 御料林さす飛び込む草家かな  
 足元のきじ逸したる獵夫かな  
 きじす鳴く山をめぐれば太平洋  
 ひたぶるに越す夕山やきじ鳴く  
 きじ肩に汽車を下り来る獵の客  
 きじないて夕陽落ちゆく木群かな

閑 月 仙 影 月 影 美  
 天 耕 影 耕 影 美  
 閑 耕 影 閑 耕 美  
 閑 耕 影 閑 耕 美

新學期の... 裁縫用具と 通學手提カバン

澤山入荷致しました

平田町

各學校 御用達 ハンモトヤ糸店 電一四番

難 内科一般

醫學博士 難波陸

平町大町新川端 電五〇二

難 波 陸 院

産人科 院長 木村寅次郎

外科 醫學博士 内木宗八

藥局 藥劑師 立番彌一

平町新川町十九

入院隨意 病室完備 木村病院 電話一六四番

旭硝子株式會社製品

赤菱印 板ガラス

製造賣販 硝子 壺 硝子 食器 其他 各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番) 支工場 仙臺市榮町(電五九七番)

石炭 コークス 炭

平 驛 前

阿部石炭商店 電話三七番

店員募集

△小店員 五名

△A 十三才より十五才迄尋常科卒業生三名  
 △B 十四才より十七才迄高等科卒業生二名

△店員 三名  
 十六才より十九才迄商業、中等學校卒業生  
 ○優待制度の外特別賞與を支給す。  
 ○御希望者は御面談(履歴書を要す)  
 ○御面談は一週間前に御通知を乞ふ。

化粧品問屋 大黒屋勝次商店

卸部 平町三丁目(本通り) 小賣部 三丁目角(常磐銀行前) 電話長一六番

入學記念時計賣出し

お目出度い御入學御進學が近づきました。御祝に是非正確な時計及眼鏡を御求め下さい。學生様にかぎり拾ヶ年保険付

特 價 金七 圓ヨリ

近眼鏡(メニス) 金壹圓五十錢ヨリ

右三サーピスは 三月十五日ヨリ 四月十五日マデ

(小店員數名募集)

金光堂時計店 電一九五

### 平町耕地整理の記念碑除幕

#### 併せて物故した功勞者の追悼會

明治四十年三月に完成した

平町耕地整理事業を記念する爲め昨夏來山崎與三郎氏外數氏發起人となり記念碑建設の準備を着々進捗中であつたが此程平町堂ノ前欣淨寺境内に建碑落成したので本十日午前十時から諸橋郡農會長、青沼平町長、山崎與三郎氏外三十名參列の下に除幕式を舉行し併せて物故した功勞者の追悼會を營んだが同記念碑は舊平藩主安藤子爵が篆額を寄書せられ、青沼町長が撰文を山崎與三郎氏が雄渾高雅の筆

### 滿洲建國事情資料

#### 平町で展覽

日滿親善協會では本縣教育會及び海外協會の後援で本月廿七日より三日間平町で滿洲建國事情資料並に滿蒙土着民兒童作品展覽會を開催することになつたが出陳物は滿洲古代文字、貨幣、石器土器、農礦植物標本等二千二百餘点に達すると

### 木炭検査が増收

#### 例年にならぬ好成績

平町木炭検査支所の去月の中に於ける濱三郡木炭検査俵数は合計二十三萬七千八百七十七俵で昨年同期に比して九萬五千四百俵の増加を示し例年にならぬ好成績であるが各郡別の俵数は左の如く(括弧内は前年同期)

- △石城一〇五、三七八(六一八、一六七) △双落一〇〇、三六五(五九、六九七)
- △相馬三二(一三八、一九四) △三七三

### 小學校卒業式

各小學校本年度卒業式

一、應接室をスリ硝子となし生徒係會議及び生徒訓戒等に兼用しては如何(校長の意見を徴し來年度より實施する事)

一、生徒係會議を月一回とし來年度行事中に加へられたき事(教務に於て然る可く取計ふ事に決定)

一、通學班則の改正及効果をあらしむる良策如何(月一回各班の集會を開

### 桑園變じてイモ畑

#### 川部村養蠶家更生策

川部村は石城郡屈指の養蠶地であるが最近蠶業界の前途頗る暗澹たるものあるため善後策を講ずべく昨日午前十時から村役場に目黒平蠶業取締支所長、柴田郡農會技手その他四十名參集して座談會を開いたが桑園を改良して馬鈴薯或は甘藷の栽培を飼養すべし等を決して午後一時散會した

### 解散協議

#### 悪水豫防組合

平、内郷、飯野の一町二ヶ村より成る新川悪水豫防組合總會は十七日午前十時から平町議事堂に開き決算豫算ならびに組合解散の件を付議する

### 遭難漁夫

#### 遺族に弔慰金

既報本月十九日久之濱町江ノ網港外で漁船が轉覆し遭難した四倉町平丸乗組員

催すること班則改正に關しては次回迄研究すること

一、生徒帳簿の種類及作成の件(生徒會議議、事故記入簿、生徒の下宿自炊及新聞配達者圖書控を作成する事)

一、軍靴拂下をなし新入生に成可く使用せしめては如何(駒場教官に手配をなし着用せしめる事に意見一致)

### 平町人事

#### 町有地が特賣

高野忠重(三)の遺族に對し昨日九日縣水産會より百圓の弔慰金を贈られた

### 平青訓終了式

#### 平青訓練所本年度終了式

年訓練所本年度終了式は來る十七日午後七時より第一小學校に於て舉行されるが送別會は本日午後七時より催すと

### 一家が南米へ

#### 泉村雜貨商佐藤一平さん

泉村雜貨商佐藤一平さん(三九)一家四名は十九日神戸出帆で南米ブラジルに渡航することになり今日午前九時同驛發の列車で同壯途の準備のため上京した

五、十六の兩日午前十時から平署會議室に於て開催縣稅法規に關する研究を遂げ

上遠野村講習 上遠野村農會主催農事講習會は十一日午前九時から同村小學校で開く

神谷農事總會 神谷村上神谷農事實行組合總會は本日午後一時から同村小學校に於て開いた

### 磐女進學合格

#### 磐女本年度卒業生

本年度卒業生鯨岡禮津子さんは女子大學國文科に同平井貞子さんは東洋齒科醫專に各人學を許可された

### 平町人事

#### 町有地の特賣

三丁目六十八番地の細長い町有地十五坪は此程八百圓を以て平町久野西松、馬目勝次郎、諸橋敬一郎の三氏に特賣になつた

### 平職業紹介所報告

#### 人を求める方

△洋・職・工・見・習 十五六才 尋卒 仕着小遣  
△女中 十六 二十才位 尋卒 月五圓位  
△運轉手 二十才前後 高卒 給料面談  
△女中 十五 八才 尋卒 仕着外三圓位  
△女中 十七 八五〇才 尋卒 月五 六圓  
△菓子行商人 二十才以上 尋卒 賣上二割給  
△小使 二十九才 高卒 職を求むる方  
△事務員 二十一才 中卒  
△事務員 二十七才 高卒  
△事務員 二十才 高卒

### 貴方の御家庭に

お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい  
直に家政婦を派出します

親切に料金は極めて低廉で  
妊産婦の御家庭にお留守番  
御病人の付添 年寄やお子さんの付添  
炊事や難用

### 派出多忙に付會員至急募集

#### 上原家政婦會

平町紺屋町二(電話呼六五二)  
會主産婆上原通子

### 咽喉專門

平町田町七〇番地  
山内醫院  
醫學士 山内亨吉  
電話六九一

入院 應需

### 募集廣告

店員 徒弟 拾名  
小 店 員 五 名  
徒 弟 拾 名

資格 年齢一拾三四才より拾六才位迄  
格 學歷一尋常科卒業又は以上の事  
優待方法(家族制度の外特別優待方法あり)

◎家具職として合理的製作方法を望む人  
資 格 年齢一拾三四才より拾六才位迄  
格 學歷一尋常科卒業又は以上の事  
修業後の收入一ヶ月金五拾圓以上百圓位  
◎御希望者は至急御面談又は御問合せを乞ふ

### 丸ほん商店

和洋家具 製作販賣 設計請負  
營業所 平町三丁目 電話三五九番  
製作所 平町新田前 電話一八二番

# 只乗りの揚く

## 財布をカッさらふ

### 親切な運子ヤンを騙して

## 平町に逃走潜伏

世は擧げてスピード時代！この時代の寵兒運子ヤンを騙して薩摩守を極め込んだ擧句の果、現金六十圓を持逃げた怪盗がある。四倉町字仲町トラツク業新妻寅吉方運轉手新妻寅夫(三)が去る六日午後十時半頃相馬方面へ

差懸る やタイヤがバシクしたので路傍に於て修理中運轉手及び助手の隙を窺ひ現金六十圓在中の財布を窃取逃走したのを程經て發見斯く四倉署に急報したので直ちに捜査の網を張つて嚴重

貨物を運搬しての歸途小高町附近で年齢二十五六歳商人風の男が「身体が痛くて歩行出来ないから乗せて呉れ」とて乗車を乞ふのに同情した寅夫君は快く乗車せしめたが久ノ濱町字末續地内の國道に

探査した犯人は久ノ濱より自動車を雇ひ入れ平町映畫館世界館前にて下車したことを突き止め得たので平町附近に潜伏してゐるらしいと平署と協力し捜索中であるが犯人は今明日中に就縛を見る模様である

## 身賣りのシヤモは嘆く

けふ平署で軍鶏を競賣に備へてウマイ御馳走を 戴いて氣樂な生活をしてゐたのも夢と過ぎ今日は身賣りのはかなさ、昨日に變る今日の身に感慨無量の思入れもよろしく「ワシヤモ辛い」とばかり鶏生りの悲哀を痛感してゐたかくてこの競賣による金は平署の金庫を温めたのである

既報一湯本町の軍鶏賭博團三十四名は八日一件書類と共に自動車五臺に分乘され、平検事局に送検されたが去る五日同賭博團の檢擧と共に平署に拘留處分を受けた軍鶏二十五羽は其後平署でもマサカ飼養することも出来ず手を焼いてゐたが賭博團も送検をみるに至つたので同署では右軍鶏二十四羽を競賣に付した価格は五圓もする軍鶏があまりはよば五拾錢位の安價で手に入るといふので我も我もと入札

# 放火魔に

## 懲役二年半言渡

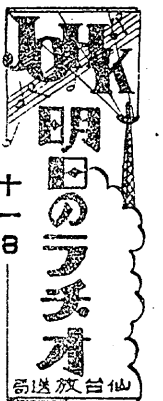
### けふ放火事件の判決

昨報清田檢事より懲役五年を求刑された平月見町二七元同町火防組合長酒小賣商伊藤喜一郎(三)に對する放火事件の判決言渡し公判は本日午前十時半より平支部に於て中島判事係り關口、佐藤(郡山)兩判事陪席、清田檢事立會、門傳、眞木兩辯護士列席の下に開廷され

たが裁判長より懲役二年六ヶ月を言渡された

## 吸殻から山林焼く

赤井村大字高萩字入釜地内山林から七日午後四時半頃發火してゐるのを柴狩りに行つた同村某が發見同村消



明日の天気 北西の風強く温 度降り晴曇半す

## 今晚の部

- 後六、〇〇 (子供の時間) お話と軍歌一日露戦争で生れた軍歌 堀内敬三 ヴォカルフォア合唱團
- 後六、二五 基礎佛語講座 目黒三郎
- 後七、三〇 時事解説 鈴

## ス氣象通報番組換

- 木真一
- 後八、〇〇 吹奏樂 戸川
- 後八、三〇 琵琶「旅順の會見」高峰筑風
- 後八、五〇 ラヂオドラマ「卅七八年戦役」梅島昇一
- 後九、三〇 時報 ニュー

## 明日の部

- 前九、一〇 餐養料理 献
- 立鹽サケのコロツケ
- 前一一、〇〇 講演「南朝の東藩神國伊勢」大西源一
- 後〇、五〇 満州より「御大典を終へて」總務長次 坂谷希一
- 後一、二〇 映畫物語「東亞の曉」犬養一郎
- 後二、〇〇 舞臺劇 遼東半島心外一千萬幾野武夫 外大勢

## 後三、〇〇 ジャズ「浪路を越えて」

- 後六、〇〇 子供の時間 兒童劇 太郎とお地蔵様 帝塚山こども會
- 後七、三〇 作曲者 別現 代歌謡曲集 東京音頭外 教種獨唱勝太郎
- 後八、〇〇 哥澤 イ春は 賑はう ヲ月夜鳥哥澤芝 千代後
- 八、一〇 南部坂大阪歌舞伎座より中繼中村鴈治郎 外大勢
- 後九、一〇 新日本音樂奉の恵尺八星田一山等谷井 歳貫

## 白土會の温習

平田町喜多流謡曲仕舞白土會では本日午後六時より同所稽古舞臺に於て第三十八回月次温習會を催すが番組は左の如く會費五十錢であると竹生島、忠度、三井寺、阿漕、土蜘蛛

# 上降機墜落

## 労働者十八名重傷

### 本日又も磐炭の慘事

本日午前六時十分頃内郷村磐炭炭礦堅坑一番方坑夫及び職工等十八名が地下七百尺の坑底に入坑作業せんとしてケーデ(エレベーター)に乗込み四百尺を降下した時ブレーキに故障を生じ三百尺の坑底へケーデ諸共墜落乗込者全部重傷を負つた

# 淫奔の女に罪あり

### 私生子を廻る情痴の訴へ

### 原告の請求棄却さる

既報双葉郡大野村大字大川原字森頭八菅野傳(三)及び實母クラヨ(三)の兩名が昨年安齋辯護士を代理人とし同村大字上平二五九石井傳

## 相手取り 私生子認知

の訴訟を提起した事件の判決言渡口頭辯論は昨日午後三時より平支部に於て中島

## 合宿所に宿泊してゐたもので、密會する機會なく

娘より分婉迄の最長期間である三百日以前は絶對に關係したことがないと申立結局被告の申立が認められたものである

## 間數十回 關係し遂に

妊娠昨年九月被告傳を分婉したので被告に再三交渉したが拒絶されたので本訴に及んだものだと申立被告は關係した事は認めるが妻子あり其上去る七年十月より同村富岡線の縣直營道路改修工事の人夫として働き引續き



【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演  
山本英春 畫

第七十七回

徳川家に崇る村正

新案足駄の渡し

人は七轉び八起きとは申しますが、一旦落目になると恢復するのは容易な事ではありません。櫻田本郷町で相當に暮らしてゐた下た屋惣兵衛、重なる不幸の爲に芝の新網の裏長屋住居商人は資本がなくては仕様なもの、據らないからけたの齒入れをして細々暮らしてゐる中でふとした風邪の心地で寝たのが元でドツと思ひ付き、どうすることも出来ない、そこで十一になる伴由松が朝は納豆を賣り、夕方は蜆を賣つて歩いていくらか稼いで来る、それで親子が露命をつなくといふ情けない身の上然し由松の孝行がはいはいに評判となつて孝行息子の納豆を買つてやれ蜆を買つてやれといふので、一廻りする

と忽ち賣れてしまふから早く家へ歸つて親父の介抱が出来、處が長雨芝の新網邊りは當今と違つてその頃は餘り裕福な人は居なかつた従つて雨でも降つて収入が少いと、平常納豆を買つてくれる家でも買つてくれない、蜆も賣行が悪い、そんな譯で段々資本を喰は

で来たから、由松も困つた併しどうやらその梅雨も濟ませ、カッソーと暑くなつたそうすると蚊も出て来る病人にこの蚊が又一層の難儀蚊帳はさておき紙帳も買ふことも出来ない、何とかして蚊帳を損料屋から借りる



來た  
由「お父さん今歸つたよ」  
惣「お、由松か、雨に降られて困つたらう、大層早く歸つて来たな」  
由「ウム今日はまだ賣り切れた譯ぢやないが旨い商賣を考へ付いたから中歸りをして来た」  
惣「何だい」  
由「今直きに戻つてくるから待つてお出で」  
けたの齒入れ屋をしてゐた六足ある、それを籠に入れて表へ出ると、丁度雨は止んだ所だ、當今の様に終始道普請をしてゐても東京は

だけの稼ぎをしないと由松は考へてゐたが又氣違ひ天氣といふ奴で、今までカン／＼照つてゐたかと思ふとザーツと降り出す、一刻か半刻か経つとカラツと上てしまつた、蜆を賣りに出た由松雨に濡れながら歸つて

か歩き出すと、この水溜りにぶつかると、洗足になつてザブ／＼越えるのも嫌だし廻り道をすれば一丁も遠いそれで皆難儀をする、そこへ子供ながら利口な由松考へ付いたから其處へ下駄を持つて行つて待つてゐる  
○「どうも吉兵衛さん困つたね、いつでも此處は大雨が降ると水が溜るんだ洗足になるのも嫌だし、跡へ戻るのは尙厄介だし、困つたね」  
○「そうですね、何とかして斯ういふ所は地上げをしてもらひ度いもので」  
○「そんなことを言つたつて今の間に合はない」  
それを聞くと由松が  
由「エ、モン／＼旦那」  
○「何だい小僧さん」  
由「この足駄をおはき下さいますし、私とその雪たを持つてお供をします」  
○「そうかい、そりや親切に有難いね、ぢやはかしてもらひませう」  
由「エ、お前さん四文頂戴いたします」  
○「何だいお錢をとるのかい、巧いことを考へたならしまあ宜いや洗足にならずに濟むから、サア四文上げるとよ」  
由「有難う存じますとこれでも宜しいのをおはき下さいまし」  
△「私も借りるよ、サア四文」  
由「有難う存じます……エ、一寸お待ち下さいまし、もう三尺でございますからその借入の付きます間そ

しますとせつたを持つてお供をします」  
○「オヤ／＼、そりや大變由「ナニ直ぐでエ、足だをおはきなさい、せつたのお方は足だをおはきなさい」  
忽ち五人お客が出来る。  
○「オイ、俺にも貸してくれ」  
由「一寸お待ち下さい、直きに行つて参ります」  
○「まるで渡舟だな」  
十二三間水溜りを越して前のお客に草履やげたと替へて又此處でお客を見付けて向ふへ越し、そつちから又お客をこしらへて水溜りを起す、一回が二十文づつの利益で度々往復をしたから大分儲かつた。

か歩き出すと、この水溜りにぶつかると、洗足になつてザブ／＼越えるのも嫌だし廻り道をすれば一丁も遠いそれで皆難儀をする、そこへ子供ながら利口な由松考へ付いたから其處へ下駄を持つて行つて待つてゐる  
○「どうも吉兵衛さん困つたね、いつでも此處は大雨が降ると水が溜るんだ洗足になるのも嫌だし、跡へ戻るのは尙厄介だし、困つたね」  
○「そうですね、何とかして斯ういふ所は地上げをしてもらひ度いもので」  
○「そんなことを言つたつて今の間に合はない」  
それを聞くと由松が  
由「エ、モン／＼旦那」  
○「何だい小僧さん」  
由「この足駄をおはき下さいますし、私とその雪たを持つてお供をします」  
○「そうかい、そりや親切に有難いね、ぢやはかしてもらひませう」  
由「エ、お前さん四文頂戴いたします」  
○「何だいお錢をとるのかい、巧いことを考へたならしまあ宜いや洗足にならずに濟むから、サア四文上げるとよ」  
由「有難う存じますとこれでも宜しいのをおはき下さいまし」  
△「私も借りるよ、サア四文」  
由「有難う存じます……エ、一寸お待ち下さいまし、もう三尺でございますからその借入の付きます間そ

### 花柳外科 木村外科醫院

平町六丁目 橋目 自炊入院の便あり  
電話 三九〇

### 市原醫院

平町 田町  
電話 一四四番

明治廿八年設立  
基礎堅實

### 有給社員數名募集

男女ヲ問ハズ奮闘家ハ來タレ  
固定給及月收多希望者ハ午前中來  
談アレ面會ノ上相談ス。

共保生命保險株式會社  
磐城監督所  
所長 福島健之  
平町白銀町一〇

磐東代理店 主管 加藤 丈夫  
平代理店 主管 金子 豊吉

玉屋洋品店  
平町田町通電話六五六番

### 吸入用酸素純度99%

度量 モノサシ  
換量 マス  
ハカリ

体温計  
寒暖計

### 關内藥局

電話四〇番

寫真材料一式販賣致シマス

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス